

校歌

一、西に金峰

築き成したる

朝に學びの

清廉以て

二、見すや白川

聞けや立田の

雪に螢に

今より後の

東阿蘇

託摩の原の中しめて

我が校舎

集へる數百の丈夫の友

わざにつき

夕に修むるわがこころ

風を爲し

剛毅互に義を結ぶ

底すみて

曇らぬ御代の影うかぶ

松の風

君が八千代ぞ謠ふなる

勵みあふ

清き心のわが友ら

國光は

我等を待ちて輝かむ

京都帝國大學講師 池邊 義象 作歌
東京音樂學校助教授 岡野 貞一 作曲

三、雲山萬里

靜に思ひを

繁き世界の

赤き心の

四、來れわが友

來れますらを

金峰山の

結ぶちぎりは

見さくれば

世界は廣し事しげし

ひそむれば

學びの海は底ふかし

事わけて

深き學びの海わたり

まこともて

たゞ一筋に盡してむ

國はしも

多かる中の我が校舎

人はしも

多かる中の同志の徒

どこそこはに

阿蘇のみたけの永久に

託摩野の

出水の水の盡きめやは